

平成27年度 第1回

川合市長と語り合うタウンミーティング

～ 大東地区 ～



日時：平成27年7月17日（金）
午後6時30分～8時00分
場所：大東市民センター

参加者

大東地区 29名、市議会議員4名

出席者

市長、副市長、政策財政部長、危機管理監、市民部長、福祉部長、
都市計画部長、建設部長、学校教育部長

意見数

分類	件数	内容	頁
保健・福祉・医療	6	熱中症予防の友愛訪問	11
		総合福祉センターの駐車場	12
		ひとり暮らし高齢者への福祉活動PR	15
		地域包括支援センター職員の増員	15
		老人クラブ	17
		地域福祉課題への取り組み	20
都市基盤・生活基盤	10	ふれあい健康広場の早期実現と多目的広場の新設	2
		シャトルバス	3
		空き地の有効活用	6
		大東地区の道路整備	7
		西武鉄道車両基地	8
		右折レーンの設置	9
		大田街道の拡幅	10
		久保川の河川改修	11
		大田街道の冠水	12
		入間川河川敷のスポーツ公園整備	19
地域社会と市民生活	3	通学路の安全対策	10
		グリーンベルト	13
		交通指導員の増員とボランティア	13

教育・文化・スポーツ	3	小中学校へのエアコン導入	14
		中学校部活動へのサポート	16
		文芸川越	19
産 業 ・ 観 光	1	川越観光	8
そ の 他	1	大東地域会議の取り組み状況	2
計	24		

意見交換（要約）

《大東地域会議の取り組み状況》

意見 大東地域会議は、正式には今年の1月7日に発足しまして、正副会長会議、幹事会、全体会及び福祉部会、青少年健全育成部会、安心安全環境部会、文化スポーツ部会という4つの部会で構成されております。

現在、各部会において地域課題の洗い出しと集約を進めておりまして、地域でできるもの、市と協働して行うもの、市に全面的にお願いするものというように分類し、その課題解決の時期を、短期、中期、長期というふうに分類する作業に入っている次第でございます。

各部会が取り上げている大きな課題の例といたしましては、まず、福祉部会では、ひとり暮らし高齢者の見守り、避難行動要支援者への支援体制の構築などが挙げられております。

また、青少年健全育成部会では、いじめ問題、通学路の歩道の問題、それから、不審者対策などが挙げられております。

次に、安心安全環境部会では、歩道の整備に加えて、道路の拡幅というような交通網の整備が挙げられております。

《ふれあい健康広場の早期実現と多目的広場の新設》

意見 文化スポーツ部会では、以前から要望しております、ふれあい健康広場の早期実現に加えて、多目的広場の新設をお願いしたいと思っております。

現在、大東地区全体の体育祭、野球大会、納涼祭等々は、地域の中学校の校庭をお借りして開催しておりますが、学校や部活動等々の行事もあり、大東住民全体の親睦の行事をそれ以上やることができません。また、日程的にも非常に苦しいということ

で、ふれあい健康広場とあわせた形での多目的広場の新設というものが強く要望されております。

都市計画部長 ふれあい健康広場につきまして、これに関しては平成 22 年ですか、急に閉鎖になった経緯がございます。また、その後に、何回も支会長さんから市に要望をいただいているところです。こちらについては検討中という回答をしておりまして、今も検討中でございます。

以前のところがグラウンドで使っており、大きな面積を使っていたので、それに替わるものを代替としようとする、どれくらいの面積が必要であるのか等、考えなければなりません。財政負担がどうしてもございますので、そういったところを含めて関係部署、都市計画部が中心になりまして、どういった場所が適切かということを引き続き取り組んで行き、案が示せる段階になりましたら、皆様にご意見をいただく場を設け、引き続き検討して行きたいとは考えております。

意見 ふれあい健康広場ということで従来お願いしているわけですがけれども、今、申し上げましたように、学校の行事と重なっても大東の親睦行事、これができるような形、学校におかれましては日曜日しかお借りできないと、月曜日に順延ということができなくなるのですね。そうなりますと、せっかくのコミュニケーションを図る場であるという親睦会がなくなるということもありますので、プラスした形で、あわせた形でお願いしたいなというふうに思っております。

都市計画部長 かしこまりました。

意見 よろしく願いいたします。

《シャトルバス》

意見 早急の問題として、大東市民センターの利用拡大の障害となっているシャトルバスのアクセス改善の問題がございます。大東市民センターに来るシャトルバスは今 1 日 2 本ありますが、連絡が非常に悪いということで、高齢者、それから、障害をお持ちの方がスムーズに市民センターへ行けないというようなことがあります。この点につきましてはアクセスを、シャトルバスの改善というものを強く要望して、訴えさせていただきたいと思っております。

都市計画部長 シャトルバスの 23 系統は、現在こちらの市民センターに乗り入れています。日に 2 本とおっしゃっていらっしゃいましたが、実際には回り方で 2 本、2 本で 4 本、南大塚駅を出るのが 9 時台、11 時台と、あとは 14 時台と 16 時台で走っております。このシャトルの 23 系統ですけれども、25 年 10 月のときに今まで 3 便

であったものを2便、2便の合計4便に増やしている経緯があります。そういった意味で、少しながらもアクセス性は向上しているのかなと思います。シャトルバスにつきましては、ほかの地域からも地域の足として、もう少し使い勝手の良いものができるか、という声として上がっているのが事実です。使われる方々が高齢になっており、障害を持っている方も利用が増えているということで、シャトルの需要が非常に増えているのだと思います。

そういった中で、前回のシャトル便の見直しの中で、かなり合理化の結果、財政的にも今まで大幅な赤字があったのですが、これをかなり切り詰めたところです。実際に走行経費が1億5,000万円、収入が3,000万円ほどありますので、全体で1億2,000万円弱を川越市のシャトル便で使っています。これは皆様からいただいた税金が使われているということです。ここまで切り詰めました。

今後どうしていくのかという点に関しましては、「川越市市内循環バス検討委員会」というものを来月8月から立ち上げて検討していくところでございます。これは、おおむね5年ごとに開いているもので、市内全域のシャトルバスをどうしていくのか。改善方針ですとか走らせる路線ですね、こちらの設定だとか変更、もちろん廃止も含まれます。また、運賃の改定ですね、こういったところを全て話し合う場として検討委員会を立ち上げて、おおむね2年半かけて見直しているところです。2年半かかるのは、話し合いの結果、本当に需要があるのかですとか、そういったところを試運転してみる、試行してみる。あるいは国への手続きであるとか、決まったときに皆様にお知らせする時間、そういったものを考えると、どうしても2年半かかってしまいます。これを来年から始めていきますので、そういった中で今、ご要望のありました、こちらへのアクセスとか乗り継ぎとか、そういったところをほかのものとあわせて検討してみたいと思います。

お金の問題もありますが、バスの難しい問題は運転手なんですね。運転手さんがいると、どうしても休憩時間をきちんと確保しなければならないですとか労働の問題が絡んできます。なかなか難しいですけども、そういうところを乗り越えて、皆さんに使っていただいて喜ばれるシャトルにしていきたいと思っています。また、シャトルがあるから出ていこうですとか、そういったところを考慮して、シャトルバスの委員会のときに見直していきたいと思っております。

意見 ありがとうございます。

シャトルバスの件は16号の東側ですね、東部側も含めた形で。この市民センター、立派なものをつくっていただきましたので、より利用しやすくということで考えてお

りますので、ぜひともよろしく願いいたします。

意見 今のシャトルバスの件について、昨年5月に、ここはオープンしました。それで、皆さん非常に困っていることを聞いているのですが、この1年半考えてきたんですね。見直しに、大きい見直しに、あと2年かかるということですが、そんなのききなことを言っていないでください。例えば21系と22系が旧公民館前を通っています。それで、旧公民館のところへ停まるのは21系なんです。それを南大塚、旧公民館の前、南大塚1丁目、それで、大東市民センター、それから、大袋新田、駅に回すということになれば、ドライバーさんのコストとか1コースを増やすとかではなくて、バスを増やすとかでもないし、5分ぐらいの時間はかかると思うんです。一番安いコストでできるのではないかなって思ったんですね。

市の予算は皆さんの税金で使っているし、大きな見直しの前に、仮に21系だけでも良いですから、こちらへ回してほしいです。よくタクシーを利用して市役所の用事をする人を見かけます。私は旧大東公民館の近くに住んでいますので、そこを1日3往復くらい通るのですが、以前はほとんど見ませんでした。しかし、最近ではお年寄りの方、高齢の方がタクシーを待たせながら用事をして帰るのを必ず見ます。そういう不便さ。あとは公民館利用者、登録グループなのですが、講師の先生、高齢化も続いています、やっぱり足がないということですね。

あともう一つ、民生委員も来ていますが、何かの大会のときに、その人たちを誘うにも、私は免許持ってないんですね。そういうときにバスがあれば、何時のバスと一緒に乗っていきましょうか、などと、より多くの人に声をかけられると思います。市のバスがあれば。そういうことで、2年後なんて言ってないで、ぜひその辺だけは早くをお願いします。

都市計画部長 21系統と22系統の希望が出ていますが、便数も全然違うんですよ。先ほどの23系統は2本と2本の4本だけれども、21系統は11本、22系統は3本となっているので、全然違いますね。

意見 そうです。

都市計画部長 11本走っていて、やはり1時間に1本、2本あるというのは、非常に便利で、どれを選べるかという点で利用者も全然違うのですよね。

意見 ええ、そうです。

都市計画部長 そういったところで、21系統がこちらに行けるかという検討は、我々担当でもしています。実際、大袋新田から、こちらの市民センターまで片道約3分ですね。ですから、経由するには10分弱必要と思います。どうしても21系統が一部、

早い時間帯や遅い時間帯に走行しているので利用者が多いんですね。その人たちの時間を取ってしまうかなとは思いますが、どれだけ乗降の方がいるのかということも含めて、この辺は21系統と22系統を是非、検討してみたいと思っております。

意見 お願いします。早急に、よろしくをお願いします。

都市計画部長 2年半かかるというのは、この路線だけ早くというのはどうしてもできなくて、全体を見た中で、ここでというところを各地域の方に平等にやっていかなければならないというのがあるので、どうしても時間がかかってしまいます。ただ、見直しの場合が来月から始まるので良いタイミングです。今いただいた意見を検討委員会の中でも議論させていただいて、良い方向に持って行きたいなとは思っております。

意見 ぜひお願いします。

意見 私はシャトルバスはもう少し料金を上げてもいいと思うんですよ。赤字でやっていたのではしょうがないですよ。高くなって困る高齢者もいるでしょうが、もう少し上げていいのではないかと考えております。

都市計画部長 シャトルバスの料金は路線バス、公共バスの路線バスの料金と一緒にしています。ですから、上げるというと、そちらへの影響も考えなければならない点もあります。おっしゃってくださったとおり、シャトルバスが赤字だから（便数を）増やさないという発想をこれまではしてきたかもしれませんが、もっとみんなですべて支えているというほうを捉えて、扱いやすいところまで持っていければ、シャトルが変わってくるのかなとは、今、部内で話しています。皆さんと共有できるところをつくっていくというのも、今後の見直し作業かなとは思っております。ご指摘ありがとうございました。

《空き地の有効活用》

意見 安心安全環境部会で話し合ったことですが、広場の整備にはものすごくお金がかかるのでなかなか難しいと思うのですが、農業委員さんから、高齢化になって草が生えて苦情の来ることもあるので、空き地について困っている、という話が出ました。ぜひそういう土地を有効利用して欲しいと思います。税金の免除などの手を打って、たくさん土地を後で返すからというふうにしておいて。

学校の校庭を大人とスポーツ団体が取り合っているという環境は、川越としてはちょっと恥ずかしい感じがするからね。そういう施設が無さ過ぎるので野球などをやっても大会が開けないというんですね、大きな大会は校庭がなくて。だから、せめて子

供たちが自由に遊べて、大人とけんかしないようなことをぜひ考えてほしいと思います。

都市計画部長 子供が遊べる広場について、私の立場からみると公園の要望が多いですね。ボール遊びがしたい、させたいので公園を身近につくってほしい、という要望が本当に多いですね。そういったニーズの方々がある一方で、土地の問題、難しさも感じています。相続が発生したとか、農業をやめられた。だから、そこを利用できるかということ、なかなか難しいという、ここにジレンマを感じています。市長の前で公園が少ないというのも、担当として言うていいのかわかりませんが、大東地区は川越市全体を見ても公園が少ないということを強く感じているところです。

《大東地区の道路整備》

意見 大東地区は南北を結ぶ道路に右折、左折のレーンがなくて、非常に混んでいる。これでよく事故が起きないなと思うくらいです。だから、ぜひとも南北を結ぶ道路が欲しいのです。

そう簡単にできないと思いますがけれども、オリンピック道路として関越道の川越インターから霞ヶ関方面へスムーズ抜ける道路が整備されれば、オリンピック期間中は鶴ヶ島を経由せずに会場に行けるようになる。だからぜひオリンピックを機会にそういう道路をつくってほしいと思っています。今は16号方面へは八瀬大橋のところからもう渋滞で動きませんからね。市の財政だけではなくて、オリンピックを利用して、大きな南北を結ぶ道路を整備してほしい、そう思っています。

都市計画部長 ありがとうございます。

道路に関しては担当ではないのですが、オリンピックまでに限られた時間での道路というと、一番効果があるのは交差点を変えることが有効かなと思います。限られた時間で方向的に、その場所を変えることができる。交差点を改良することで流れがよくなる。一番の効能は流れがよくなる、渋滞が少なくなるというのは、かけるお金、費用、労力に比べれば効果は高い1つなので、道路をつくるというのと加えて、交差点の改良というのは1つかなとは思っています。

市長 ちょっと補足的なお話なのですが、道路に関して、市民の多くの方は川越でオリンピック競技が行われるということになると、国とか都からオリンピック用の補助金みたいなもの、あるいは交付金みたいなものが、ごそっと来るであろうというふうに誤解されている向きがございます。つい先日も、ある人と話をしていたら、「えっ、来ないの」って、そういうふうに驚かれたんですね。残念ながら50年前のオリ

ピックのときはどうかわかりませんが、少なくとも川越でゴルフ競技が行われるからといって、では川越が道路を整備するために必要だろうから何億円か交付金を出しますよ、とか、オリンピック補助金を出しますよ、という、そういう制度は残念ながらないんですよ。だから、結局は市のお金で、あるいは県道だったら県のお金で改修をしなければならないという、そういう現状でございます。

道路に関するご要望はオリンピックにかかわらず、たくさんいただいております、できるだけ鋭意皆さんのご要望に答えていきたいというふうに考えておりますが、そういう現状であるので、特にお金が潤沢になるわけではないということをご承知いただきたいと思っております。

《西武鉄道車両基地》

意見 増形に西武の車両基地がありますよね。それで、以前、周りへ外周道路をつくったのは良いのですが、西武の敷地のほうへフェンスが張ってある。それから、外側にも張ってあるんですね。あれはどういう意味で張ったのでしょうか。あの外側のフェンスがあるため、我々が見ると非常に使い勝手が悪いんです。そういうことで犯罪の温床にもなるのではないかな、ということを話していますが、撤去をしたほうが良いという意見もあるんです。どうして、ああいうのをつくったのかというのをお聞かせください。当然、西武と市とで協議してつくったのではないかと思うのですが。

建設部長 西武の外周道路のフェンスにつきまして、周りに水路があったと私は記憶しております。車両基地についてはいろいろな付替え交換等も行いまして、その水路に転落すると危険になりますので、その転落防止ということでフェンスをつけたということになるかと思いますので、ご理解いただきたいというふうに思います。

《川越観光》

意見 ちょっと大きなことになってしまうのですが、今、川越は観光都市ということで、大勢の方が市外から来ていますが、滞在時間が非常に短いということを聞いています。はっきりした数字はわからないのですが、平日だと4時間程で、1回来るとあとは来なくなってしまうということを危惧するわけです。

先ほども少し出しましたが、高齢化によって農地も余ってくる。農業をやるのなら農地を集積して法人化して、と政府では考えていますが、なかなかそういうのは進んでいないです。川越の観光を考えた場合、東京から近いのですからテーマパークなどを市が音頭を取って、観光協会か何かがやって、運営は民間に任せるとか、都市計画の

中の一部として、そういうのをこれから考えていく必要があるのではないかなと思います。せっかく大勢観光客が来ても1回きりで、あとは来なくなってしまう。または滞在時間が4時間であるとしたら、落としていくお金も微々たるものだと思いますね。

近くに川越卸売市場がありますけれども、活気がないと、地元の人も言っています。あれもうまく利用して、あそこへテーマパークみたいなものをつくれればどうかと思います。私も昔から川越市は公園が非常に少ないというのを、都市計画を少しやっていたものですから感じてはいたのですが、その辺も都市計画部長さん、しっかり計画を立てて、長期的な計画が必要だと思うんですよ、都市計画というのは。その辺よろしくお願ひしたいと思います。

都市計画部長 都市計画は、御指摘のとおり長期的なビジョンで進めていかなければなりません。テーマパークや活気がある市場づくりということもやっていかなければなりません、なかなか難しいかなとは思っています。産業観光部とも連携をとって、都市計画部ではまちづくりから、産業観光部では産業面と観光面から一緒にやっていくことで成果になるのかなと思います。

市民部長 観光の関係では観光時間が短いというご意見をいただいております。過去にアンケートをとったところだと、川越市の場合、統計的には大体9割が半日までの観光、2時間とか3時間であるという結果が出てございます。今そういった意味で外国人観光客を呼び込んだり、長時間滞在していただくような取り組みを産業観光部でおこなっておりますので、それについてはご理解をいただきたいと存じます。

《右折レーンの設置》

意見 大田街道が国道16号と交わる交差点の件でございます。入間川街道から16号方面に向かう道路、菅原神社の前なのですが、右折車がありますとそこで渋滞してしまい、常時渋滞している状態です。また、道路が狭いために歩行者の通れる道路がなく、自転車も通れないという形ですので、あそこを拡幅していただいて、狭山方面に行く右折道路をつくっていただきたいと思います。

建設部長 御指摘の道路は市道番号では市道7476号線という道路でして、市の道路には生活道路と幹線道路という位置づけがありますが、市道7476号線は幹線道路に位置づけされております。大東東小学校や大東中学校などの通学路にも指定されておりますので、道路整備の必要性の高い路線だということは川越市としても認識しているところでございます。

そういった中で、交差点がちょっと不整形になっておりますので、右折車が1〜2台つながりますと、直進車が通行できなくて混雑する交差点ということになっております。私どももこれを何とか解消したいということで、平成22年度に測量を行いました。

今後は地元の皆様に用地のご協力をいただかないと改良が進まないかな、というふうに思っております。今後、地権者の方と話し合いをさせていただいて、事業の合意形成を進めてまいりたいと考えておりますので、ご理解いただきたいと思っております。

《通学路の安全対策》

意見 大田街道、大東分署近くの関越道のトンネルの付近についてです。毎朝、児童があそこを通っていますが、非常に危険な交差点です。いつも3〜4名の方が見守り役をやっていますが、私も見えて非常に危ないと思っておりますし、見守りをやっている人も、いつも危ない形でやっていただいております。あそこに手押し信号とか、何かそういうのをつけるのは可能なのでしょうか。少しでも危険度を少なくしたいということで何かできないかな、と思っております。

市民部長 信号機の関係につきましては、私ども市民部が所管でございます。信号機の設置につきましては警察の所管になりますので、警察へは市から要望させていただくような形をとってございます。ぜひそういう点につきましては、市へご要望いただきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

《大田街道の拡幅》

意見 大田街道は平成21年度に久保川まで拡幅して広くなったわけでございますけれども、その先がまだ従来のままでして、先ほど観光というような話がありましたけれども、川越のサツマイモ類は有名で、ピーク時には大型バスが20台ぐらい、芋掘りに集まるというところなんです。非常に大田街道は狭いので、あそこが拡幅できないのかなということです。

それから、あそこに久保川があるのですが、久保川の橋がまだ従来のまま広がっていないので、歩行者にとって非常に危ない橋になっています。

建設部長 市道0058号線、大田街道が現在、久保川のところで拡幅が終わっております。橋の架け替えにつきましては、今後、道路拡幅を久保川から南につきましても進めていかなければならないと考えておまして、その拡幅計画とあわせて橋の架け替えが必要ではないかと考えております。その辺りを地権者や地元自治会のご協力を得

なければならないという中で、今後進めてまいりたいと考えております。

大田街道は久保川を渡って、右側に行く方が大田街道になったわけでございますが、途中 150 メートルぐらいの間が今、側溝が入っていない状況です。それについては今後、側溝を入れるような検討をしていきたいと考えております。

《熱中症予防の友愛訪問》

意見 大東地区の民生委員は、この夏、友愛訪問ということで、この「川越の水」を 1,200 本注文しまして、それで 75 歳以上のひとり暮らしの方に、熱中症予防の友愛訪問ということで配っております。

《久保川の河川改修》

意見 今回の台風で久保川の水がいっぱいになっています。実は、平成 8 年に久保川があふれたことがありましたが、久保川と不老川との合流地点が改修されまして、大変流れがよくなり、その後はあふれることはありませんが、昨日の台風でもう、いっぱいいっぱいなんです。これが時間 50 ミリ降ったらどうなのかなというようなこともあり、今、非常心配しています。

それとともに、大田街道のところの橋と、その下の側道、高速道路のところの橋、それから、そのすぐ下にある橋、これが果たしてもつのかなという心配があります。その辺りをいつの日にか検証をしてもらえないものかと。

建設部長 久保川の件につきましては、昨年度、準用河川ということで国の補助金をもらって河川改修ができるようになりました。水は上流から流れてきますので、川越市だけが計画を作ってもだめですから、狭山市と川越市で共同して計画をつくらなければなりません。それと歩調を合わせて雨水調整池であるとか、今回の雨でもあふれそうになるということでしたので、河川断面を大きくして、もっと下に深く掘っていくような断面にするような方向で、徐々にではありますが、河川改修を進めていきたいという計画を持っております。

ご指摘の橋につきましては、今の河川断面に合うような橋かどうかの検証を行う必要が当然ございます。現在架かっている橋が河川断面に合う橋であれば架け替えの必要はないと思いますが、検証を行った結果、河川断面に合わないということになれば、河川改修とあわせて橋の架け替えもやっていくということになるかと思っておりますので、そのことについてはご理解いただきたいと思っております。

《大田街道の冠水》

意見 大田街道沿いにあるお宅では、常時、家の前に土のうを置いてあるんですよ。あの辺りの家は土のうが全部置いてあって、雨が降るたびに心配なんです。今の大田街道の話は私が平成8年に自治会長をやっていたときに、あの橋のところまでやるからと。それで、その先も改修するから、と言われて、それが平成8年なんですよね。その後進んでない。いろいろなことがあるので進んでないのでしょうけれども、そのところをできるだけ早く、それとともに、どうしても浸水するようなところ、あれを何とか早急にお願いしたい。

建設部長 申し訳ありませんが、大田街道のどのあたりでしょうか。

意見 大田街道と久保川が合流しますね。その先、そこから50メートルくらいのところが、いつも冠水するわけです。

建設部長 それでしたら、一度、現地を確認させていただいて、回答をさせていただければと思います。現地がどのような状況であるのか把握していないものですから、申し訳ありません。

意見 付随して、今の久保川の側溝の件ですが、先ほど側溝をつくられると言いましたよね。上のほうで、排水関係ですね。

建設部長 はい、狭山市と川越市で共同していろいろな雨水調節池ですとか、その辺りも計画していかなければならないと考えております。

意見 今、南大塚6丁目近辺で排水の工事に入るということを聞いているのですけれども、あれをやられると、向ヶ丘と久保川の橋、あそこの排水に来るんですよ、側溝に。今でもあふれているものを、全部あそこに集中したら、多分あの辺は床上までいっちゃいますよ。側溝の排水、久保川に出るところが非常に小さいです。トータル的にやってもらわないと、今度はあそこが水没というか床下、床上、今でさえ間違ひなく出るのに、全部あふれたらどうしようもなくなると思います。その辺りの見直しをもう一度、見直しというか検討をしてもらいたいと思います。

建設部長 当然、久保川の河川改修に際しましては、久保川に入ってくる流域面積のことも検討しながら計画を立てて進めていくことになりますので、ご理解いただきたいと思います。

《総合福祉センターの駐車場》

意見 オアシスの駐車場についてです。建設部もあそこを使っているかと思うのですが、オアシスの駐車場は身障者の方、体の不自由な方が多く使うのですが、雨が降る

と、どうしようもないです。下はぼろぼろ、それから、水たまりが多い、これがもうずっと続いています。ぜひ、これは早目に解決してもらえればと思います。

市長 オアシスの駐車場は、もともと田んぼだったところを、ほとんど土盛りもしないで使っているという、そういう状況でございまして、確かにおっしゃるような苦情というか要望は来ています。何らかの形で、少なくとも歩く人が不便をきたさないような、そういう工夫ができるかどうか、その辺りについては考えさせてもらいたいと思います。

《グリーンベルト》

意見 大田街道の久保川の先についてですが、道路を広げるのはお金とか土地を譲ってもらわないとできないと思うのですけれども、とりあえずグリーンベルトを敷いてもらうということは可能でしょうか。

今あそこで旗当番を育成会としてやっているのですけれども、あそこは30キロ制限の道路なのですが、大体60~70キロ以上の速度で走ってきます。グリーンベルトを敷けば、もう少し速度を落としてもらえるのではないかと思います。昔からあそこは（道幅が）広がる、広がるとは言われているんですが、一向に広がっていなくて歩道がないので、まずはグリーンベルトを敷いていただけたらと思います。

市民部長 道路がどういう状況になっているかということもございますので、申し訳ありませんが、後ほど場所を具体的に教えていただけて、検討させていただきたいと思います。

《交通指導員の増員とボランティア》

意見 交通指導員さんは今、校区で多分1名だと思うのですが、私が子供のころは校区に数名いたのではないかなと思います。今は1名で、校区の中で多分一番危ないと思われるところに立っていただいていると思うのですが、昔よりも交通量が多いような気がしますので、感覚としては、もう少し増やしてもらえたらと思います。

それに伴って、今、旗当番を育成会の役員とか保護者の方に出てもらっているのですが、地域で交通指導のボランティアの組織化を、市が中心となって自治会方の方々とか老人会の方々に組織化してやってもらえたらと思います。

昔は駅の近くに働いている人が住んでいたと思うのですが、私自身も会長をやりながら夫婦で働いているのですけれども、子供のために時間をつくるのはとても大変です。だんだん働いている人が多くなって、難しくなっているのが、地域の方々にご協

力いただければと思います。

市民部長 交通指導員を増員することについては、なり手がなかなかいらっしやなくて、というようなことがございまして、もう少しその人数についてはお時間をいただいて、検討させていただきたいと思います。

あと、ボランティアという点につきましては、例えばの話なのですけれども、この地域会議の中で、地域で何かこういう運動を自発的にできてきたら大変良いなというふうに私たちは思っています。地域の中で地域課題に応じた何か必要な、ボランティアでなくても、例えば有償であっても、それぞれ地域課題に合った活動が広がっていけばいいというのが地域会議設立の趣旨でもございますので、そんなことを検討に入れていただければ大変ありがたいと思っております。

また、今年度、地域会議補助金というのを市で創設をいたしまして、地域会議で地域の公的な事業を自主的に実施していただく場合、20万円を限度にそれぞれ提案をしていただいて、補助をさせていただく制度がございますので、例えばそういった制度を活用していただくということも考えていっていただけると、大変ありがたいなというふうに思っております。

《小中学校へのエアコン導入》

意見 4月の市子連の総会後の歓送迎会で、市長さんが小学校にクーラーをつける話を検討するっておっしゃっていたのですが、具体的に今どのぐらい話は進んでいて、多分全クラスにつけることはないと思うのですけれども、どの教室につけるかを教えていただきたいです。

市長 学校にクーラーをつけるというのは、普通教室に全部入れるという、そういう趣旨です。今、学校は特別教室、あるいは保健室などはクーラーが入っているのですけれども、普通教室、子供さんがふだんいる教室は全く入っていない、扇風機だけという状況です。それについて、今年度、小学校について業務委託という形で、どのような方式のエアコンを入れればいいのか、例えば、電気なのかガスなのかとか、そういうような問題等について調査をしているところで、その調査結果が出た上で、できるだけ速やかに入れていきたいという、そういうことを考えています。

入れる場合に、教室の種類ではなくて技術的にいっぺんに、例えば小学校なら小学校全部、一つの年度でできるかどうか、それもちよっとまだはっきりは断言できないのですが、考え方としては小学校なら小学校をある年度で全部やってしまいたい、中学校なら中学校、ある年度で全部やるという、どちらを先にするかは、また別の話な

のですけれども、というようなことで考えています。

《ひとり暮らし高齢者への福祉活動PR》

意見 地域福祉につきまして、民生委員が中心となって75歳以上のひとり暮らしの方への援助活動をおこなっており、トータルしますと、年に4回、民生委員がひとり暮らし、75歳の高齢者の方に足を運ぶ計算になります。

現在、お誕生日に毎月、民生委員からプレゼントという形で年1回、年末の何日か、昨年は洗剤を持って民生委員が訪問しまして、安否確認をしたわけです。さらに、10月には地域全体で、ひとり暮らしの高齢者の集いの案内状を持って訪問するなど、年4回訪問させていただいていると思います。

前回、地域会議の中で、これだけの福祉活動支援にもかかわらずPRが少ないのではないかと、そういう制度を知っている高齢者の方が少ないのではないかと。確かに、私たちも、そうだなと思ったのが、75歳のひとり暮らしの方には手厚い援助をしているのですけれども、高齢者のご夫婦の方、例えば65歳、67歳のお二人暮らしの方への援助はどうなっているのか。要するに90歳の（御夫婦の）家庭とお孫さんとながっている3世代の家庭、そういったところには足を運んでいないですよ。そういったところに、はっと気がつきまして、高齢者への告知の制度、そういったものをもっともっとPRしなければいけない。私たちもやれることを、もう一度見直したいなというふうに思っています。

《地域包括支援センター職員の増員》

意見 地域包括支援センターの拠点を南大塚駅の近くにつくっていただきましたが、痛切に感じているのは、職員の方の数が少ないのではないかとと思うんですね。常にあちらこちらへ非常に目まぐるしく動いておられる。今度は公助という、要するに、自助、共助、公助という場合に、私たちが一番頼りになるのは地域包括支援センターなんです。その方たちへの増員というのでしょうか、そういったものがあると、私たち民生委員も動きやすいなと思いました。

福祉部長 地域包括支援センターにつきましては、今、国が推し進めております地域包括ケアシステム、これが2025年、平成37年を目途に、実現に向けて準備を進めているところでございます。このシステムの中で、やはり地域包括支援センターは中核になっていただく部分でございまして、確かに包括の皆様は月曜日から土曜日までお仕事で職員数も十分とは言えない状況でございまして、本当にいつもありがとうございます。

地域包括支援センターは現在9つあるのですが、国の目標としては中学校区に1つといった目標値がございます。そうしますと、川越の場合は、それが22になるのかなと思うわけですが、まず、その前段として、今年度より1つの地域包括支援センターを機能強化型ということで、理学療法士さんを採用していただきました。その方に全ての地域包括支援センターでご要望があれば回っていただいて、ご支援をいただくような形をとったところがございます。

また、これに合わせて基幹型地域包括支援センターというのがございまして、こちらにつきましても、その9つの地域包括センターのバックアップと申しますか、統括と申しますか、そういった意味合いがございます。そちらにつきましてもは、福祉部の中では、これを直営で市に設置したい、ということで議論を進めておるところでございます。

また、その人数の部分につきましても、その圏域が、包括の数がふえれば対象となるご高齢の方が、その分少なくなるわけですが、今現在9つということで、第6期の介護保険計画の中では27年、28年、29年まで、この9つでいくような状況になってございます。

福祉部としても、人員を増員させていただきたいという思いは強いわけですが、なかなか1人配置、要員を増やしていただくと、やはり数百万という経費がかかるという部分がございます。これを9つということになりますと、数千万円の金額にもなりますので、その辺の状況も勘案しながら今後とも増員、また、地域包括センターの数の増加について前向きに検討してまいりたいと考えております。ご理解をよろしくお願いいたします。

《中学校部活動へのサポート》

意見 市立川越高校のバレー部が久々にインターハイに出るわけですが、中学校の部活動はどうでしょうか。競技部活は必要ないと思うんですけども、例えば大東中学校でサッカーをやりたいがサッカー部がない。サッカー部がある近くの野田中学校でサッカーを楽しみたいと思っている子供たちへ積極的に門戸が開かれていれば、野田中学校でサッカーをやりたいなという子供もいるのではないかなと、こんなふうに思います。

ちなみに、隣接のまちではA中学校にブラスバンド部がないのでB中学校でブラスバンド部に入る。こういう制度を持っている市町村があります。ですから、そういったものが川越にあるのであるならば、ぜひともPRしていただければと思います。

学校教育部長 小学校から中学校に上がる際の件でございましょうか。たしか、大塚小や武蔵野小の子どもたちが中学校に上がる際に、少年団から、いわゆるクラブチームではなくて学校で、中学校の部活動でやりたいという、そういう要望書もいただいていますので、認識しているつもりです。

サッカーをやりたいとき、いわゆる指定校への特認の手続きについての話だと思います。これにつきましては、例えば野田中学校に行ってサッカーをやるというのは、条件的には可能でございます。その条件としては、小学校時代にサッカーをやっていたということがわかる証明書などが提出されており、それでやっているケースがございます。

ただ、今回の場合、それに当たっているか、ちょっと共通認識は不確定ですが、恐らく署名をいただいた方たちは、メンバー全員がということがあったのだと思います。このうち6年生からサッカー部のある中学校区の小学校に通い、「越境入学」というふうに書いてありますが、いわゆる特認をして、指定校変更してということではなく、それから、クラブの入団、チームの入団とか、そういうことではなく、行きたいという要望をいただいております。

私どもとしては、結局は大東中にサッカー部をつくってくれという要望でいただいております。ただ、部活動を1個ふやすのはスクラップ・アンド・ビルドでございまして、どこかの部活を削らなければ、教員の数は大抵の場合変わりませんので、指導する担当がいなくなってしまうわけです。そういった状況もございまして、私どもとしてはいろいろな部活動での特認を認めるというのは、昔にしたことではございませんし、PRというお言葉をいただきましたが、この指定校変更の手続については、平成24年にホームページでも公表するようにしております。

こういったケースはいろいろほかの部活動でもありますので、教育委員会といたしましても、柔軟で多様な選択肢が得られるような方法やPRというか向上について、今後も考えてまいりたいと思います。ご理解いただければと思います。ありがとうございました。

意見 ありがとうございました。

《老人クラブ》

意見 老人会での高齢者の割合が増えているのは全国的な問題であり、対象者は多くなっているのに、老人会に入会する人がだんだん減ってきています。何故かという、老人会運営の事務的なこと、要するに、役員ですね、そういう担当になる人が少なく

なっている。単位クラブの老人会そのものが無くなって、大東も川越も大体加入率が10%を切っている。川越市老人クラブ連合会については（事務的なことを）事務局にお願いしているわけですが、ほかの支部や単位クラブ等運営事務についても、事務局でやっていただけないかということで、老人福祉法に基づいて目を向けていただきたい。

老人会に高齢者が加入しないという問題も、老人会に入っていない人へ加入を促すルートがない。全体的な社会問題として、高齢者でも、まだそんな年齢ではないと言う人もいますが、やはり社会に対して、どういうふうなことが起きるかということは大きな問題であって、その点について検討していただきたいと思っています。

市でも情報が多くて、老人に対するいろいろなマッサージ券だとか、実際有効に使われているのかどうか、そういうことを疑問に思っています。

先ほどのバス等についても、当然予算があるわけですから、実行する市とすれば当然予算を抑えなければいけない。予算を抑えるについては、やはりあまり具合の良いバスであっても路線との問題もあるし、難しい問題なんでしょうけれども、その辺の兼ね合いを大きな問題として検討していただきたいと思います。よろしく願います。

福祉部長 現在、老人クラブ連合会の事務局につきましては、社会福祉協議会にお願いをしているという現状でございます。

また、ご指摘のとおり単位クラブの事務局ということで、特にそういったものは市なり、社協なりで行っていないというのが事実でございます。

また、全市的に老人クラブへの加入率というのは、大東地区と大体同じ形で9%弱だと認識してございます。

一方、老人クラブ連合会の周知というか広報につきましては、毎年1月に広報で募集をかけさせていただきまして、紹介をさせていただいているような現状でございます。

老人クラブ連合会にご加入いただくということは、今後の超高齢社会の進展の中で、自宅にとじこもらないで外へ出て、皆さんと交流をしていただくということが健康の維持、増進にもつながると考えております。今後とも、その周知等につきましても有効な周知の仕方とか、また、その事務局体制につきましても検討させていただければと考えております。

続きまして、福祉サービスの関係でございますが、個々の利用率につきましては今、手元に資料がないので、細かいお答えはできないのですが、毎年4月10日号の広報

に、「高齢者のための福祉サービス」ということで周知はさせていただいているところでございます。今後もそちらの利用率の向上につきましては、広報だけではなく、いろいろな周知の仕方について検討し、少しでも利用率が上がるように努めてまいりたいと考えております。よろしくお願ひいたします。

《文芸川越》

意見 文芸川越は毎年出ていますよね。これは要望なのですが、小学生部門とか中学生部門とかってないですよ。今、一般部門だけで、高校生ぐらいの方も投稿はしているのですが、俳句とか短歌などには、そういう方たちは投稿していません。小説部門に高校生ぐらいの人、17歳とか18歳、若い方もいらっしゃいます。ただ、これを小中学校で募集したときに、学校で選んで投稿とかというと、やっぱり少し嫌だなという感じがします。現在、川越市全部に広報川越で募集していますよね。そんな形で、紙面の都合もあるでしょうけれども、投稿する人の氏名、文字数を少し削ってでも、小中学校生部門が入ると、また少し違った文芸川越ができるかなというふうに、これは要望です。

市民部長 今の文芸川越の件につきましては、小中学校の部門を加えてほしいというご要望として、担当のほうにお伝えさせていただきたいと思ひます。どうもありがとうございました。

市長 今の話の関連ですが、今は「かりがね」というのはないのですか。

学校教育部長 まだ、続いています。

市長 ありますよね。小学校、中学校の子供さんが作文であるとか詩とか、そういうものを載せる、そういう「かりがね」という文集が、私が子供のころもありましたし、今もあるんですよ。ですから、そういうのを活用してもらおうというのも一つの手かなと。ただいまのご要望はご要望として文芸川越の担当のほうに伝えておきます。

《入間川河川敷のスポーツ公園整備》

意見 先ほどもございましたけれども、大東地区は大変スポーツが盛んなところでございます。地区の体育祭は、あと数年で70回、そして、野球大会も60回を迎えたところでございますけれども、特に川越市の市民体育祭の野球は大東が出ないと、もう市民体育祭にならないのではないかなというような感じの状態です。

そこで、平成22年にちょうど大東支会の副支会長をしていたとき、市長さんにふれあい広場について、足りないということで要望いたしました。入間川の河川敷を見

ますと、狭山のほうの運動公園といいますかね、運動場ができています。ところが、八瀬大橋からは増形グラウンドが1個あり、八瀬大橋のすぐ下に八瀬グラウンドがありますね。

増形グラウンドは増形の地権者の方から、自分たちでそこを運動場にして、今は実際の管理は増形のソフトクラブがしているようでございますけれども、八瀬大橋から増形グラウンドまでの間の河川敷をスポーツ公園というような形で整備できないか、要望を地域住民が出した場合にそれを検討することができるのかどうか、お聞きかせ願いたい。

それから、増形グラウンドの脇に、グラウンドゴルフをやる公園を、ということで、多分増形の老人会を通じて市長へ要望を出しているのですが、それも、まだはっきりとしたご返事をいただけていないというようにおっしゃっています。その辺について、要望が出た場合は検討していただけるのかどうか、お聞きかせ願いたいというふうに思います。

市長 河川敷については、あの辺りは県が管理しているのですか、国のもので県が管理しているという、そういう関係なのですか。

ですから、治水との関係で、この部分ではできないとか、そういう問題もあろうかと思っておりますので、具体的な問題についてはご要望をいただければ、現時点で県に可能性があるのかどうか問い合わせをして、お答えはいたします。

意見 ありがとうございます。

市長 グラウンド化することができるのかどうかという点ですね。

意見 できればそういう方向で検討していただければ、ありがたい。

市長 それと、増形緑地のグラウンドゴルフ、隣のグラウンドゴルフの問題については、ちょっとご要望いただいているかどうか、頭の中に入っていないので、その辺りにつきましては、確認の上、後ほど回答させていただきます。

意見 わかりました。ありがとうございます。

※ 本件につきましては、都市計画部より意見者に直接連絡をさせていただきました。要望の有無や、今後要望を御提出いただいた場合の経過見込みについて、ご説明させていただきます、内容についての了承を得ています。

《地域福祉課題への取り組み》

意見 来年3月に総合事業という形へ移行するにあたり、地域の福祉課題に対して、福祉課の方々が各々同じような会議で、同じ目的で取り組んでいることが多く感じら

れるんです。

今後、もし検討していただける課題として、川越市としての地域福祉課題を取り上げていただく中で、一度、障害、高齢、児童の分野にかかわらず、一旦横のつながりを会議として結びつけられたらいいな、と。できれば縦での会議で参加型の課題解決ではなく、できるだけ横の会議で連携しながら地域福祉について、地域課題について取り組んでいただけたらなと日々感じていますので、そのあたりをぜひご検討いただけたらと思います。

福祉部長 ありがとうございます。

おっしゃるとおり、そういった部分がないとは言えない状況ではございます。ただ、今年につきまして、来年度から5カ年の地域福祉計画をここで策定中でございまして、これは全市的な審議会の中でご議論いただくわけですが、その前段で、その原案を提出するにあたっての庁内の会議がございまして、今おっしゃったような縦割りではなくて横割りで、41の課がその前段の会議として庁内会議でやっております。ご指摘の障害や児童、また、高齢の分野をトータル的に見るのが、大きな地域福祉の中に障害者福祉、高齢者福祉、児童福祉があると認識してございますので、ご指摘を踏まえて今後とも努めてまいりたいと考えております。

市長 長時間にわたりまして、大変貴重なご意見を多数出していただきまして、ありがとうございます。

なかなかすぐには対応できない課題もございますが、できる限り取り組んでいきたいというふうに考えております。特に道路の問題につきましては、やはり子供さんの通学路等の面で、まだまだ努力が足りないといえますか、やるべきことがいっぱいあるという現状はよく認識しておりますので、その辺についても鋭意進めていきたいというふうに考えております。

今後とも、もし、いろいろご意見、ご要望がございましたら、こういう場に限らず、市民意見箱、あるいは直接ご要望においでいただく等、いろいろな形でご意見を出していただけたらというふうに考えておりますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

本日は、どうもありがとうございました。